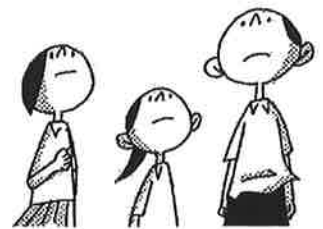




僕は阪神・淡路大震災を経験していな
いけど、三好さんの話を聞いていくうちに、
当時の様子が頭に浮かんできてとても
大変な思いをされた人だなと思った。地震は
ある日突然発生し町をめちゃくちゃにして、人の命を
奪ってしまう。でも僕はそのことを今日、改めて理解する
ことができた。自然災害が起ってしまうのは仕方な
いことだが、被害を小さくすることはできると思った。
そのためには、備えを徹底すること。(決してゴールなどには
存在しない)適切な行動を心がけ、常に最悪な場合を
考えることだと思う。それができるようになれば、自分
自身もそうだけでなく他の人の命を救うことができるかもし
れないと思った。自然災害は繰り返されるものなので
一人一人が減災に努めていけたらいいと思った。

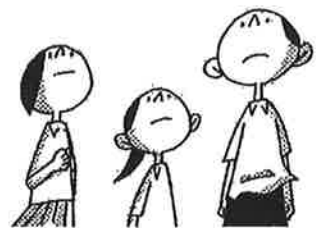




今日は貴重なお話をありがとうございました。

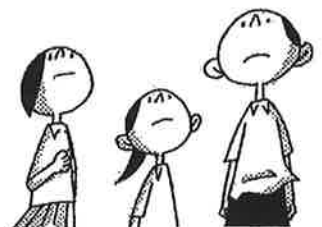
三好先生のお話をきいて、震災を経験していない私たちでも災害知識をつけるなど、来る災害に備えてできることはたくさんあるということを改めて感じました。災害が起きてから身をもって学ぶこともたくさんあると思うけれど、災害が起きる前に頭で学んでおくのは、多くの犠牲者をださないために私たちがすべき義務でもあると思います。

災害時でも休まず、発刊を続けてくれた神戸新聞は被災者の方にとっても何よりの安心だったと思います。非常時にマスコミがもつ力は大きいと感じます。今はSNSで非常時にフェイクニュースが流れたりしていますが、悲しんでいる人がいる裏に遊び半分で他人を困らせている人がいるというのは絶対にダメだと思います。そこも私たち、SNS世代からなくしていかなければいけないと感じます。





地震はいつくるか分からないのでとても
こわいです。いつ地震とか災害か
おこってもいいように家でしっかりとそな
えたいと思います。



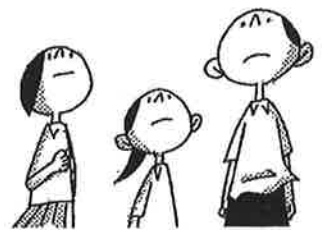


私は震災講演会を聞いて、改めて
阪神・淡路大震災はすごい地震だった
ということを感じました。

阪神高速道路が横倒しになっている写真はニュース
や新聞でよく見るけど、三宮センター街のアーケードが
崩れたり、阪神電鉄の高架が落ちている写真は
見たことがなかったので、各地でさまざまな被害が
あったことが分かりました。

もし、今地震が起こったら、コロナのこともあって避難
所で生活するとしたら昔より大変になるだろうし、
防災バックの中身もマスク、消毒など追加しなければ
ならないと思います。準備に終わりはないので、もう
一度家族と話し合おうと思いました。

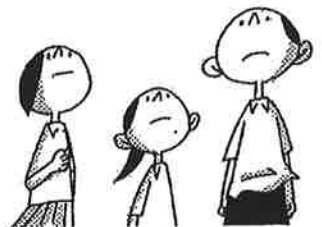
今年のとうろくの一字は「忘」で、どんどん阪神・淡
路大震災のことを忘れていく人が多くなってきていると
思います。私達も少し生まれるのが早かったら被災し
ているかもしれないので、忘れないためにも
自分が後世に伝えていかないといけな
いと思いました。





今朝は、「そういえば今日は阪神大
震災から2年か」という感じに
思っているだけだったが、

考えていたよりも大きな出来事だったことが
分かった。阪神大震災は、決して風化しては
ならない出来事だと思った。ジュンク堂書店や
マックなどで並んでいる神戸センター街も、当時は天井
やガラスが崩れたりなど、壊滅的になっていたことが
分り、驚いた。決して忘れることなく、今後このような惨劇
が起きないようにしていくべきだと思う。





私は、震災講演会を聞いて、地震は
本当に怖いものだと思い始め

思いました。地震は、いつくるかも、どれぐらいの強さ

でくるのか分からないので、いつきてもいいように

そなえておこうと思いました。話を聞いて、印象に

残ったことは、阪神・淡路大震災で、亡くなった人数や、

新聞社の人たちの動きです。阪神・淡路大震災で、

亡くなった人数は、6430人ぐらいや、淡路で亡くなった人、

62人や明石で亡くなった人が11人と聞いて、

おどろきました。そして、新聞社の人の動きで、

自分も大変なのに、まず新聞のことを考えていて

すごいと思いました。私だったら、パニックになって

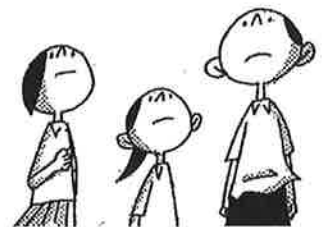
それどころじゃないと思いました。

最近、南海トラフがくるといわれているので、

被害を少しでも減らすために、まずは、

自分の命を守って、いつ地震がきてもいいように、

備えておこうと思いました。





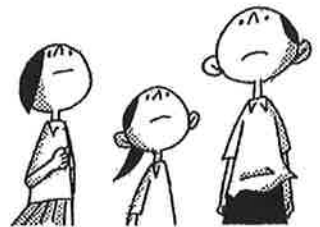
今日の講演会を聞いて改めて震災
について学ぶことができました。もう
一度僕は災害が起きた時どのよ
うな行動をしたか。まずは自分の命を大
切にすることを考えることができました。

災害は無くすことはできないけど、被害を少
くする方法はあると感じました。たとえば家
具の固定やハザードマップを見たりして自分で
できることをし、被害を減らすことができると思
いました。

自分の命を優先するのもあるけど、家族や友
達の命も大切にしていけるのも良い行動かな
と思いました。

今日の講演会では学んだことがたくさんあ
りました。

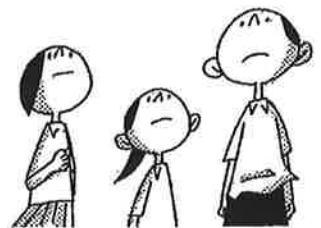
ありがとうございました。





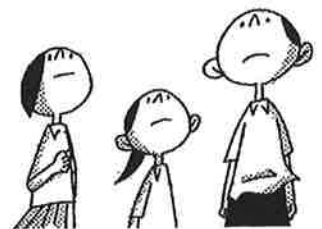
今日は、おいそがしい中、震災講演をしていただき誠に有難うございます。今日1月17日は阪神・淡路大震災の日。「忘」れてはいけない、「忘」れてほしくない、「忘」れてしまいたいという気持ちが集まる日です。兵庫の6432人もの命を奪った非常に大事な日です。仲の良か、た人、家方矢、親族たくさんの人達が心や体に傷ができた日。その日を神戸新聞社からみても悲しい実感が沸きました。今の若者達が来世に語りついでいくことが大切ということを改めて教えていただきました。

「歴史は繰り返す」という言葉を聞いて、いつ何が起こるか分からない、普通の日常がどこまで続くのか分からない。だからこそ「7-11」の「災害から学ぶ」という言葉をモットーに1分1秒でも速く自分の命を守るために、備えていきたい、生きたいと思いました。



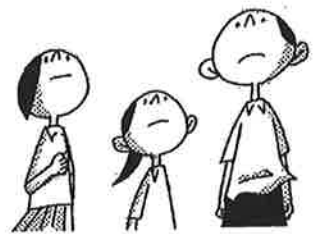


震災講演会を受けて感じたことは、
普段から災害に対する備えをしておくべき
だということです。日本は災害が多く、
地震や台風などは、毎年起こっています。そして、災
害は簡単に人の命を奪ってしまいます。そういった事態にな
ることを防ぐために災害への備えをしておくべきだと思
いました。また、記者の方の話を聞いて特に印象が残っ
ているのは、阪神淡路大震災で起こったこと、そして、亡くな
った人々のことを忘れないということです。阪神淡路大震災
から27年経ち、災害から学んだことが人々の記憶から
風化していつているのではないかと僕は思います。
二度とこういったことを繰り返さないために、災害に
ついてもう一度考えるべきだと思いました。



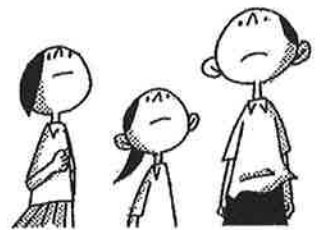


今日、1月17日で、阪神・淡路大震災から、27年がたちました。震災講演会を聞いて、震災(災害)の恐ろしさ、これから僕たちが災害をふまえてすべきことなどたくさんを知った。まず、阪神・淡路大震災で、死者が6434人、これだけの人かなにもしていかないのに、自然は感情もなく当然のように命を奪っていった。僕は毎年のように思うがこれほど死ぬ必要があったのかと、心して思う。三好さんが見せてくれた写真、体験談を聞いてとても悲しく感じた。三好さんが言っていた通り歴史は繰り返す。なので僕たちは、災害は歴史をもっと知るべきだと思った。また津波は、黒潮町では最大34.4mの高さまであると知ってとり肌が立った。僕が生まれてくる前にどれほどのことがあった今があるのか、今回で身にしみて感じた。今日の講演はいい経験になった。



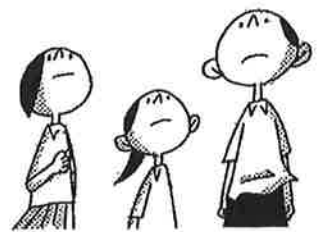


日本は戦争が終わり、平成に入ると何度も大きな災害があり、何人も亡くなってしまったということや、どんな災害でも本当にいつ来るかわからないので、毎日が危険で、逃げるための準備は必ず必要だということが改めて分かりました。自分の家は災害は「大丈夫だろう」と思っている人が多く、準備はほとんど何もしてないなので、自分や家族のためにも、話し合う時間をつくる必要があると、震災講演会を聞いて思いました。私たちは、今まで大きな災害にはあてないないので、地震も笑って終わっていました。が、何人も亡くなるような大きな災害がきたときのために、防災訓練は必死になって取り組んで、命を守れるようにしていきたいと思います。



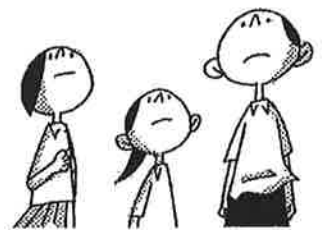


私は、今日の震災講演会を聞いて
とてもたくさんのお話を思い出しました。
私たち自身、生まれてから今まで
「とても大きな災害」というのを経験したことが
ありませんでした。だから災害の本当の恐ろしさ
を知る機会がありませんでした。でも、
今日の講演会で災害の本当の恐ろしさを知る
ことができ、本当に貴重な体験をさせて
いただくことができましたと感じました。講演会
では、災害の恐ろしさや災害が起きたことにつ
いて出てきた死者の数、そして阪神・淡路大震災
を体験した三軒さんのお話など、教訓のこと
を聞かせてもらい、そして学ぶことができました。今日
学べたことは、たとえどんなに小さな災害でも、
油断はしてはいけないということ、そして災害に
あてはまらないように、自分のためにこのことを
覚えておきたいということ。今日、お忙しい中わざわざ
高丘中学校に来て、講演会を開き
お話をしてくださり本当にありがた
うございました。



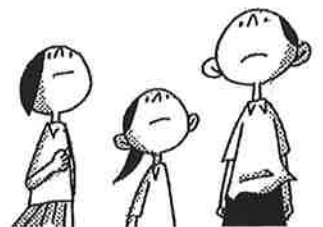


今日初めて震災の事についてくわしく
知ってこんなことがあったんだと感じま
した。自分はまだ産まれてもなくてよく
分からなかったけどたくさんの方が亡くなって、また見つか
ていない人がいるんだということを知りました。地震に
より、津波がきたり建物かくすれたりしている写真を見
て、災害によってすべてがなくなるんだと実感しました。
自然災害をなくしたりすることはできなけれど、自分
達で防災することはできると思います。南海トラフがいつ
くるのか分からないけれど、それこそなえて自分や家族
友達を守ることができるので年に1度ぐらゐ、防災訓練
をするようにしたいです。そして、助け合いが大事だと思
いました。自分達の住んでいる県、地域で被災してしまった
ら、他県からのボランティアやぼきんしてくれると思います。
自分達の地域が被災をしていなくて他県が被災に
なっているなら、ボランティアやぼきん、などをするこ
とができるらいいと思います。困った時はおたがいに助け
合うことが大切だと思いました。





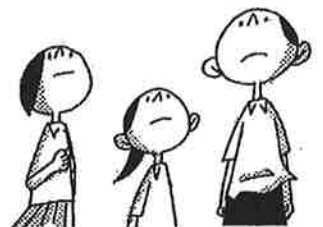
今日は震災講演会がありました。＊
講演会では震災のドラマや震災のことについて話を聞きました。震災ではたくさんの命がうばわれ忘れてはいけないことなると強く思いました。新聞社の関係が良かったからこそ神戸新聞社は新聞を続けさせてくれたなと思いました。震災の時も運良く助かった人もいれば、運悪く助からなかった人もることをよく覚えておきたいです。毎日家になにげなく届く新聞の良さが改めてよく分かりました。最後に阪神淡路大震災がおこったことを忘れないようにしたいです。





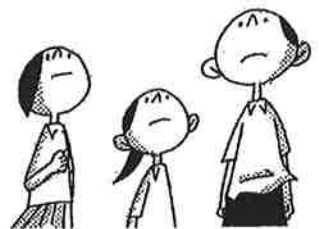
震災構演会を聞いて、改めて地震は
恐いものなんだと思いました。

阪神高速道路が635mにわたって横たおし
になるくらい強く大きいゆれがあったんだと知って
おどろきました。





今までに、日本では大きな地震があって、たくさん
の人が亡くなっているということを知って、改めて
自分は震災についての知識を身につけないと
いけないなと思いました。地震は経験したことがあるけど、
阪神・淡路大震災のようなとても大きい震災は経験したこ
とがないので、その時の状況が今回知ることができて、とて
も怖いなと思いました。自分や周りの人の命を守るために
も、日頃から危険な事をしないようにしたり、周りを注意して
見るということが大事ななと思いました。自然災害はいつ
起こるか分からないので、備えをすることが大切だと分かり
ました。今回の震災講演会を聞いて、まだまだ知らない事
が多くて、これから知っておくべき事もたくさんあると分かり
ました。震災を経験したことがないので本当の苦しみなど
は分からないかもしれないけど、震災について知ること
で自分や周りの人の命を守ることに繋がるので、これから
も少しづつ知って、これからにつなげていきたいなと思いま
した。



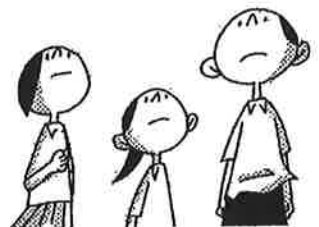


講演会を聞いて、何をしていたのか、
何かあったのかなど知らなかった事を
たくさん知ることが出来ました。

私は、本当に地震はこわいと思いました。

写真を見ただけでもすごい、やばいって思うのに
それを体験した人はも、とこんな気持ちにな、たり
したのかと思いました。

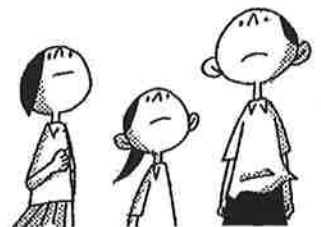
こんな震災があった事を忘れないようにして次に
どんどん伝えていけたらいいと思うし、伝えたいと
思います。





1.17と聞けば、震災の日となるのですが、
あまり危機感とかがわかりません。

でも今回の講演での写真や神戸新聞の7日間を
見たり三好さんの体験した話とかを聞くと、ゾクッとし
ました。そんな状況でも新聞記者として動く皆さん
がすごいと思いました。起きた次の日から新聞
で今の状態や死者の数とか書かれていて、その
中に自分の家族とか友達がいるかもなんて考えたら
不安になると思います。私はそんな大きな地
震を体験したことはないのですが、実際あったら
すごいテニイロと思います。今でも災害の備え
とかも何もしてないので、この講演会を聞いて、
いっそう不安と焦りがでてきたので、わが家
でも何かしておこうと思います。





震災講演会を聞いて命の大切さを知

りました。阪神・淡路大震災では、

6434人の方々が亡くなり、私達が住む

明石市でも11人の方々が亡くなりました。阪神・淡

路大震災直後の神戸新聞は、とても急がしそう

でした。地震の中で、棚が倒れたり、書類が

ちらかたりなど復旧するのに時間がかかりな

くて^{した}。そんな中、新聞を発行するために必死

に動いている姿がとても印象に残りました。

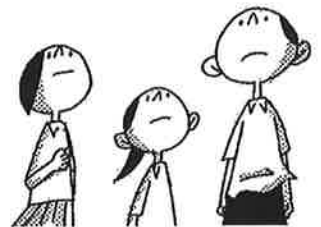
自分で自分の命を守るには、周囲の人を見て行

動せず自分から動く事が大切だと思えます。危

険だ"と感じた時は避難をする。家の近くの

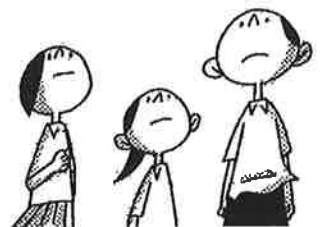
人(高い者)動く。自分がしっかりと意見を

発する事をしたいです。



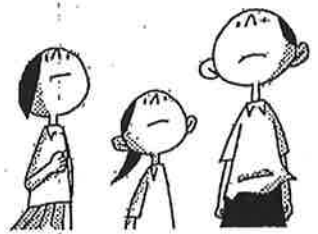


今日の講演会を聞いて、やっぱり自然
災害は怖いと思いました。震災があつた
のに、兵庫県は、こんなに早くに復旧
できて、すごいと思いました。話を聞いている内に、
避難訓練の必要性があらためて必要なの
と思いました。





震災講演会を聞き思ったことがある。これは震災は人の命を奪うもの、ということだ。日本では、台風、火山の噴火、地震などで毎年多くの人々が亡くなっている。自然災害を止めることは不可能だが、身を守ることはできる。そう考えて、また震災講演会を聞いた。聞くにつれて、阪神大震災の状況がだんだんと分かっていった。地震が起きたとき窓ガラスが全て割れたこと、JRの馬車の木目が本ごと落ちて来たこと、そして、セルが倒れてきたこと。言葉では言い表せないほどのつらさだっただろう。まともに防災訓練をしていない人々だったら、すぐに命の危険にさらされるのでは、と思った。また、この悲惨な状況でも、自分の命を守るように、次の日寺間に行われる防災訓練も、しっかり集中して取り組もうと思った。また、最悪の事態を想定して家でもきっちり話し合いをする場を設けたらいいと思った。最後に、私たちに「災害に対する備えについて話していたとき、ありがとう」言ってくれた。





今日震災講演会を聞いて、阪神・淡路

大震についてのお話がすく頭に残り、

自分が生まれる前に地震で悲しい思いをした人たちが

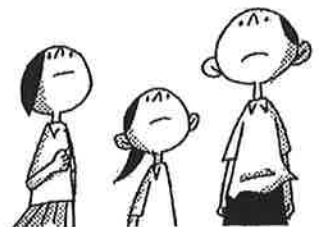
が多いのがわかり、そうならないために知識をつけて

おくのが大切だと教えていたとき、当時についても

お話したいという、知っておくべき事が分かったので

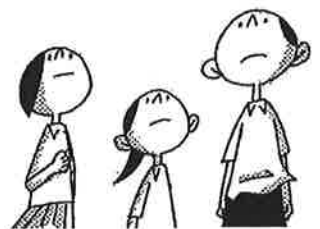
その事を忘れないよう心がけ、もし地震が起

きた時にそなえていろいろ準備していきたいです。





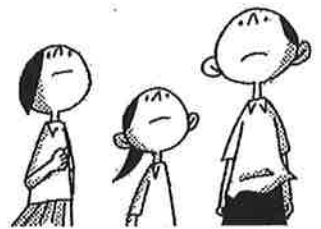
今日の3、4時間目に、震災についての貴重な話を聞くことができました。今までには、6年生の修学旅行の時、朝学の時に地震について、少し知ってはいました。しかし、地震の資料を見ると、小さな地震から大きな地震と、かなり多くの地震が起きていることを知りました。今回の三好さんの話を聞いてみて、もう一度地震とはどんなにおそろいものなのか、その地震によって、地味はどうなりましたのか。スクリーンの写真や映像を見て思いました。今日は1月17日、こう阪神大震災日が起こった日。その時の新聞記者の人々は大変だった。その話を聞き、地震は危険だと思います。それに加えて地震はいつおこるかわかり





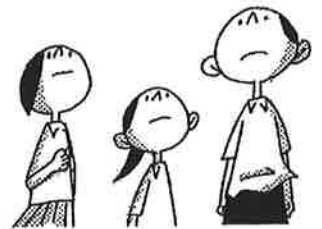
今日の震災講演会を聞いてたくさんの
ことを学びました。三好さんは特に、今
あった阪神・淡路大震災を、経験されて
いるので、実体験などを聞かしてもらえたので、
すごくその時のことが頭の中に入ってきました。
僕は、三好さんの話を聞いて、やはり最初に思った
のは、恐いものだなということでした。人を殺す、
都市をはかいしたりする本当に恐いものなんだと
感じました。また、地震などは、何をしてもおこて
しまうものなので、どうやったら、最上におこら
ずにかまえるかを考えていきたいです。でもたら
はきている間に来ほしくは、ないけど、いつか絶
対来ます。僕は、その地震をいかに、防ぐことが
できるかが、大切だと考えています。自分の命を
一番に考えるのは、あたりまえだけど、家族の命
も、自分が守りたいです。改めて、今日の震災のこ
とを聞いて、もっとしっかり考えていくべきたと
感じました。また、あまり備えてい

ないところも、もちろんあったので、
どうやればいいのか、何をすべきかを考え
て、必ず生き残ってみせようと感じ
ました。今日の学習をしっかりといかしてい
くことができればと思います。





今日の震災講演会で、震災のおそろしさを改めて知ることができました。地震などはいつゆれるか分からず、逆にいつゆれてもおかしくない状況だと思いました。阪神・淡路大震災では、たくさんの人々が死亡・行方不明・けがをしています。また、建物・家屋の倒壊・火事など二次災害によっても、被害は大きかったと思います。私はまだ震度7のような大きな地震を経験したことはありませんが、いつ起こるか分からない地震から、家族・友人を守るためにも備えをしておく必要があると思いました。家の中での備えだけでもできることはたくさんあります。家具を固定したり、保存食品・水・などできることはいろいろです。あと、震災のできごとを忘れず、伝えていくことも大切だと思いました。





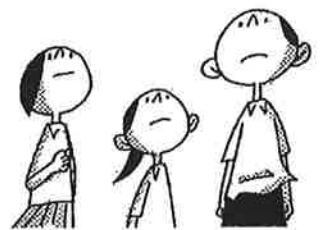
震災講演会を聞いて僕は
阪神・淡路大震災の大変さを
知りました。講演中、高速道路

が崩れている写真が出てきました。
初めは、高速道路なんて崩れない
だろうと思っていましたが、崩れる
ことを知りびっくりしました。

その他にも高知県くろしお町
では波の高さが最大38メートル
になることを知りました。

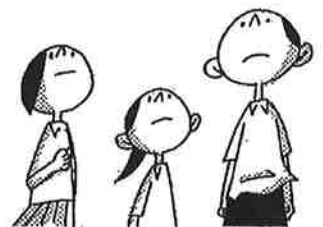
このことを聞いた時は、3.8メートル
の違いかと思いました。

これから先どんな災害が起きる
か分かりませんが、災害が起きた
時には、自分に出きる最大限の
事をしていきたいと思っます。





私達は、幼い時から家族、先生などから、地震の恐ろしさについて聞かされてきました。防災訓練など、今まで何度もくり返してきましたが、実際体験したことがなかったのでその恐ろしさはあまり理解できていなかった部分もあります。でも今回の講演会を聞いて、地震に対する意識が少し変化しました。10分程のDVD、再現であっても、地震の怖さへの理解がより深まりました。実際、地面が大きくゆれるのはどのような感じなのか、思っていました。たとえイメージであったとしても、動かない、建物がゆがんでいる、ガラスがすぐ割れる、色んな物が倒れてくる。そんな揺影だったのかな、と頭の中でイメージできました。そう考えると、今の家の設備、家具の固定など、少し不安になります。自身が体験していないからこそ、今までのかことを生かして、しっかり備えられればいいと思いました。





今日震災講演会を聞いて、改めて
災害はとて大変なことだと思いました。

27年前の阪神・淡路大震災を体験していな
いから、どんなに強い中だったとかわからないけど、

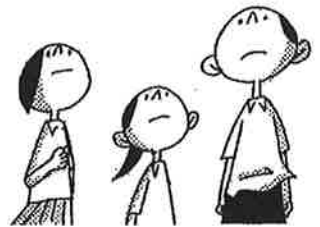
両親やテレビから聞く話から、東日本大震災もそう
だけど、本当に忘れてはいけない日だと思いました。

震度3でも怖いのに最大震度7で物とかが
飛んできて、自分がその場にいたら頭が
真、白になると思います。

神戸新聞にかかれてた『紙灯笼』でかかれて「忘」と
いう漢字。思いは「忘れない、忘れるな、忘れたい...」
凄く考えさせられるなと思いました。

私自身、地震も大きな災害も体験したことがないけど、
もし将来、家族が起きたら昔こんなことが
あったんだよ。と伝えていきたいと思います。

今日は貴重なお話をありがとうございました。





「近代初の都市直下型地震」、史上初の震度7を観測した地震。阪神・淡路大震災といわれて思いつくのはそれくらいだった。地震において無知は罪と呼べるほどのものだと今日の話聞いて思った。何も知らないことが、何も備えていないことがどれほど「自分を死」に近づけているか。震災から27年という年月が経過した今、もう一度「自分」という存在がどれほどきせきに近いかを改めて感じた。世界を見ると、自分より優秀な人が教えきれないほどいる。その世界で生きている私はとても小さな人間だ。けれど、「私」という一人の人間は戦争で祖父母が生きのびてくれたから、地震のとき、父母が生きていてくれたから在るのだ。そう考えると私の命はもう私一人のものではない。これから先何が起るかは誰にも分からな。今この時に何か起るかもしれない。未来には息もできなくなるほど苦しいこと、涙が止まらなくなるほど悲しいことがあるだろう。それでも、一歩ずつゆっくりでいいから前に向かって歩いていくしかないと思う。それが私達を生かしてくれた方への最大の恩返しだから。

